



静岡県内経済情勢

令和3年8月3日

財務省東海財務局


静岡財務事務所

1. 総論

新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している。








先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。

【総括判断】

前回（3年4月判断）	今回（3年7月判断）	前回比較	総括判断の要点
新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している。	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している。		「個人消費」は、感染症の影響により、観光地への入込及び宿泊客数が弱含んでおり、持ち直しのテンポが緩やかになっている。「生産活動」は、半導体不足の影響により、自動車関連において減産の動きが続いているものの、電気機械などを中心に着実に持ち直している。こうしたなか、「雇用情勢」は、弱い動きが続いている。

（注）令和3年7月判断は、前回4月判断以降、7月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

【各項目の判断】

項目	前回（3年4月判断）	今回（3年7月判断）	前回比較
主要項目	個人消費	感染症の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっている。	感染症の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっている。 
	生産活動	一部に弱さがみられるものの、着実に持ち直している。	一部に弱さがみられるものの、着実に持ち直している。 
	雇用情勢	一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きが続いている。	一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きが続いている。 
その他の項目	設備投資	2年度は減少見込みとなっている。	3年度は増加見込みとなっている。 
	企業収益	2年度は減益見込みとなっている。	3年度は増益見込みとなっている。 
	住宅建設	新設住宅着工戸数で見ると、前年を上回っている。	新設住宅着工戸数で見ると、前年を上回っている。 
	公共事業	前払金保証請負金額で見ると、前年を下回っている。	前払金保証請負金額で見ると、前年を下回っている。 
企業倒産	件数は前年を下回っている。	件数は前年を下回っている。	—

2. 各論

最近の静岡県内経済情勢における主要項目の動向は、以下のとおりとなっている。

【個人消費】— 感染症の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっている —

スーパー販売は、内食需要が引き続き好調であることから、回復しつつある。

コンビニエンスストア販売は、オフィス街における入店客数が回復しつつあることから、緩やかに持ち直している。

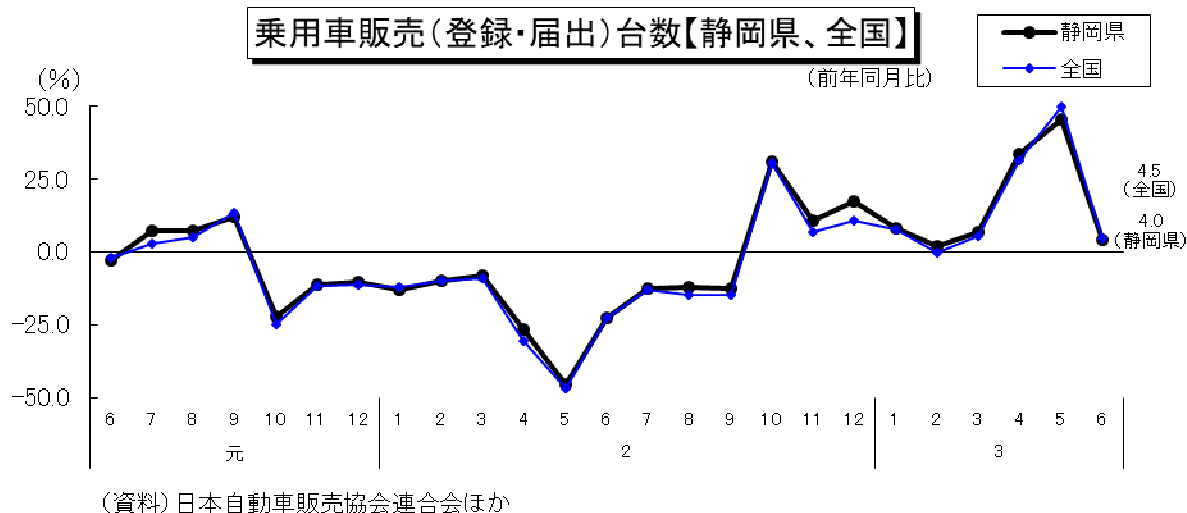
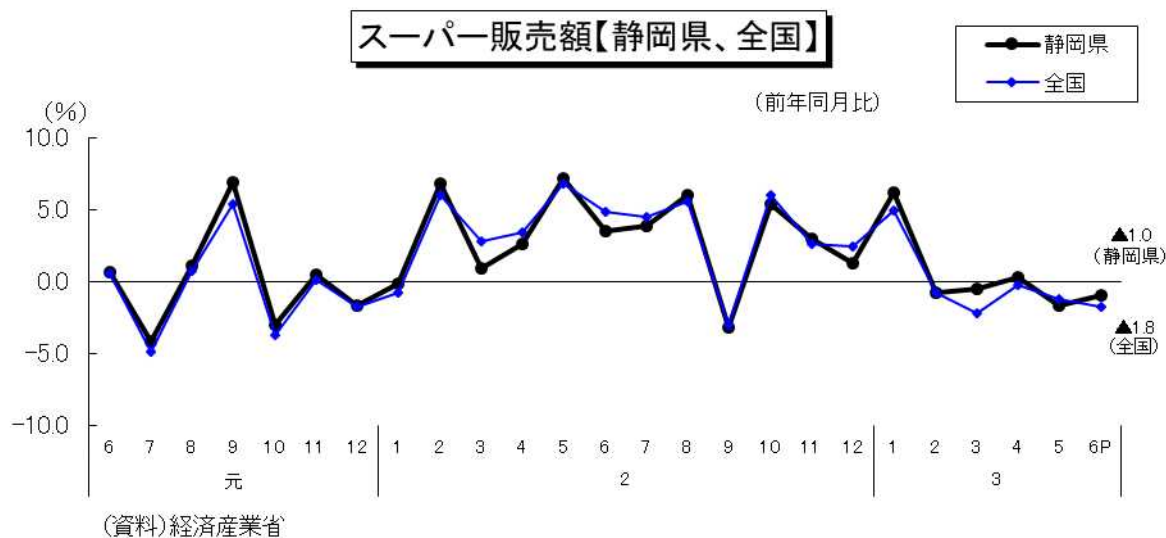
ドラッグストア販売は、新規出店に加え、飲食料品が好調であることから、引き続き増加している。

百貨店販売は、感染症の影響により、持ち直しの動きに一服感がみられる。

家電販売は、白物家電等の買い替え需要により、持ち直している。

乗用車販売は、新型車効果等により、持ち直している。

観光地への入込及び宿泊客は、感染症の影響により、弱含んでいる。



【生産活動】— 一部に弱さがみられるものの、着実に持ち直している —

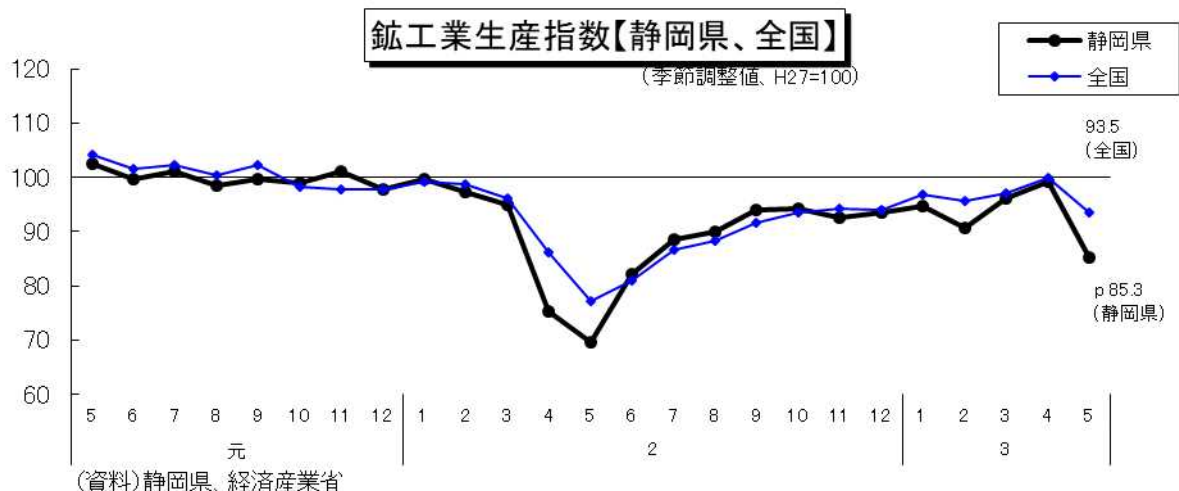
自動車関連では、四輪車は、国内外の需要が堅調である一方、半導体不足の影響により、減産の動きが続いている。オートバイは、新型車効果などにより、輸出向けを中心に緩やかに回復しつつある。

電気機械では、エアコンは、ルームエアコンを中心に緩やかに回復している。冷蔵庫は、大容量冷蔵庫などを中心に緩やかに回復している。

金属工作機械は、海外受注が増加基調にあることから、持ち直している。

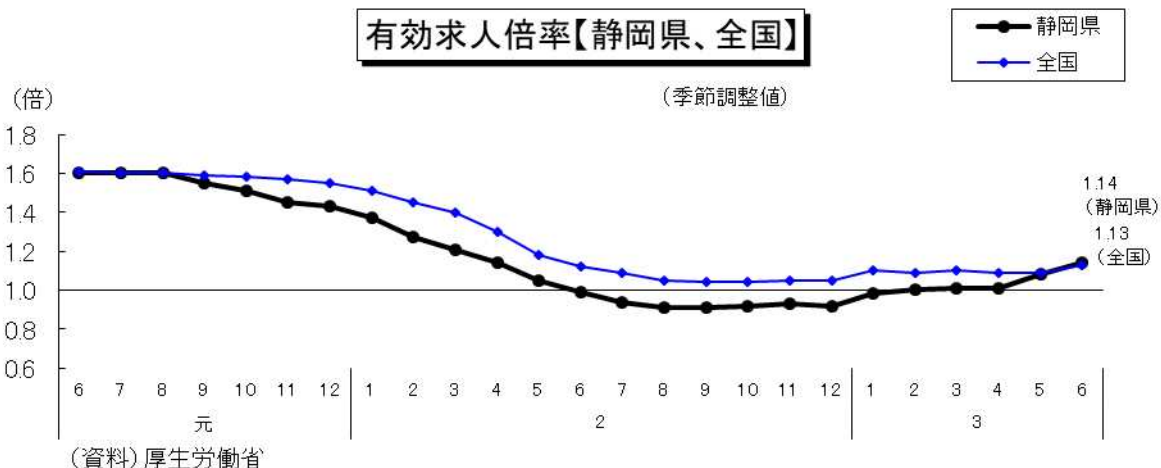
紙・板紙は、おおむね横ばいとなっている。

ピアノは、回復しつつある。



【雇用情勢】— 一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きが続いている —

有効求人数が増加し、有効求職者数が減少したことから、有効求人倍率は上昇している。



3. 県内景気に関する地域の声

個人消費

- ・ 巣ごもり需要が継続しており、食料品が好調で、総菜や寿司等の調理済みのものがよく売れている。(スーパー)
- ・ 新型コロナワクチン接種の副反応への対処として、解熱剤や鎮痛剤等がよく売れている。(ドラッグストア)
- ・ 厳しい状況ではあるものの、催事に限っていえば好調。ワクチン接種の進展により、消費マインドが回復し、来店客数が戻ることを期待している。(百貨店)
- ・ 受注は堅調であるものの、販売においては、徐々に半導体不足による納車の遅れがでてきている。(自動車販売)
- ・ 首都圏での緊急事態宣言の影響で客足は鈍く、夏休みの予約状況も低調。加えて、熱海市の土砂災害への懸念による予約のキャンセルもみられる。(観光協会)

生産活動

- ・ 半導体不足に伴う完成車メーカーの減産の影響により、出荷台数が減少し、稼働率が落ちている。一部シフトを減らして対応している。(自動車部品メーカー)
- ・ 欧米市場において、需要が好調なことや新型車投入効果等により、生産は増加している。(輸送機械メーカー)
- ・ 巣ごもり需要やテレワーク需要により、引き続き冷蔵庫やエアコンの販売が好調であり、工場稼働率はフル稼働に近い状況が続いている。(電気機械メーカー)
- ・ 海外需要の回復に伴い、稼働率が徐々に上がってきている。ただし、製造部門ごとに繁閑の差が発生している。(工作機械メーカー)

雇用情勢

- ・ 一部店舗で休業を継続しており、従業員は過剰気味の状態。雇用調整助成金を活用し、従業員の雇用を維持しているほか、一部の従業員には、配置換えなどの対応も行っている。(飲食サービス)
- ・ 工場稼働率の低下により、残業時間や休日出勤の削減のほか、一部で派遣社員の雇用調整を実施している。一方で、開発部門における技術職については、各企業との獲得競争もあって確保しづらい状況が続いている。(自動車部品メーカー)
- ・ 製造部門ごとに繁閑の差が生じているため、部門間の人員調整により対応している。(工作機械メーカー)
- ・ 販売の増加に伴い工場はフル稼働の状況であり、一部で休日出勤や残業により対応している。(楽器メーカー)

1. 本調査結果に関する問い合わせは下記へお願いします。

財務省東海財務局 静岡財務事務所 財務課

TEL(054)251-4323 (ダイヤルイン)

2. 本調査結果の概要は下記ホームページでもご覧頂けます。

ホームページ= <http://tokai.mof.go.jp/sizuoka.htm>